第４講　律令体制の衰退
PART３ 藤原氏の台頭と天皇の親政

Chapter１　藤原氏の台頭

目標
藤原北家が台頭したのはなぜだろう？
摂政と関白について知ろう。

1　藤原氏北家の台頭

①**藤原氏**〔1　　　　　〕発展の要因

A　**外戚政策**

娘を入内・出産させ，天皇の〔2　　　　　〕

（＝母方の親戚）となる。

※当時は妻問婚〔招婿婚〕の風習で，

　男児も幼少時は母方の実家で養育された。

B　**他氏排斥**

橘氏，伴氏（もと大伴氏），

紀氏，菅原氏，醍醐源氏などを排斥。

終了後は藤原北家内の「氏長者」争いへ。

C　高位高官の独占

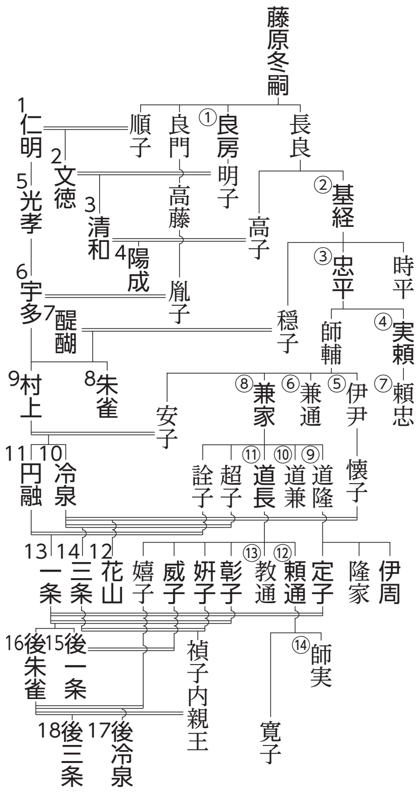
摂政・関白を藤原北家が独占し

「〔3　　　　　　　〕」となる。

※摂政は天皇が幼少時などに政務の決裁を

　代行。関白は天皇が成人後に政務を補佐し

　決裁権はない。



数字は皇位継承順，丸数字は摂政・関白の順

天皇家と藤原氏の関係系図⑶

D　寄進地系荘園の集積

院宮王臣家・権門勢家として荘園の寄進が集中。摂関家の荘園群を殿下渡領という。

②北家発展の契機

810年，**藤原冬嗣**が嵯峨天皇の蔵人頭に就任。

のち娘の順子を仁明天皇（＝嵯峨太上天皇の子）に入内させ，

皇室との姻戚関係を確立した。

2　前期摂関政治

この時期は皇位継承が安定せず，政務は外戚（外祖父など）である摂関家や賜姓源氏など，天皇の近親者が共同で代行・補佐して行われることが多かった。

①［4　　　　　　　　　］（冬嗣の子）

842年　承和の変（仁明天皇）

※皇太子恒貞親王・**伴健岑**・**橘逸勢**を謀反の疑いで排斥。

甥の道康親王（のちの文徳天皇）を立太子。

857年　太政大臣に就任（文徳天皇）

858年　**事実上の摂政**に就任（［5　　　　　］天皇）→臣下で初の［6　　　　　］

※文徳天皇に入内した娘の明子が産んだ，孫の惟仁親王が８歳で即位。

866年　応天門の変（清和天皇）

※嵯峨源氏の左大臣源信を陥れるため大内裏の応天門に放火した

大納言伴善男と紀氏の兄弟を排斥。良房が**正式の摂政**となる。

②［7　　　　　　　　　］（良房の養子）→初の［8　　　　　］

884年　乱行が絶えない甥の陽成天皇を廃位し**事実上の関白**に就任（**光孝天皇**）

887年～阿衡の紛議〔阿衡事件〕（～888年）（［9　　　　　］**天皇**）

※基経の示威事件。天皇が勅書を撤回し，**橘広相**が責を負う。

※その後，基経は**正式の関白**に就任し政治的地位を確立した。

伴大納言絵巻（応天門の変）

まとめ
９世紀，藤原北家は外戚政策と他氏排斥により台頭した。
摂政は天皇が幼少時に政務を代行，関白は成人後に補佐した。

Chapter 2　天皇の親政

目標　宇多天皇の治世から摂関政治が中断したのはなぜだろう？
後世「延喜・天暦の治」が美化されて伝わったのはなぜだろう？

1　宇多天皇の親政 ―寛平の治―

関白藤原基経の死後は,

藤原北家と外戚関係がないことから摂政・関白を置かず親政を展開。

①**菅原道真**の登用

阿衡の紛議（887～888 年）を収めた文章博士菅原道真を蔵人頭に登用。

※ **894 年**には遣唐大使に任命したが,

道真の建議によりその回の**遣唐使は停止**となり，以後も行われなかった。

②蔵人所の指揮下に**滝口の武者**を設置

宮中の警備を行う。

2　延喜・天暦の治

①［1　　　　　　　　］の親政 **―延喜の治―**

藤原北家と外戚関係にあったが摂政・関白を置かず,

左大臣藤原時平，右大臣菅原道真を従え親政を開始。

※ 11 世紀に入ると，文人貴族たちに理想的な治世と美化されてしまう。

901 年　昌泰の変

※［2　　　　　　　　］が藤原時平の讒言により大宰権帥に左遷される。

※のち道真＝天神の怨霊を鎮めるため,

北野天満宮（京都）や太宰府天満宮（筑前国）がつくられた。

『日本三代実録』（六国史の最後）完成

902 年　延喜の荘園整理令・最終班田

905 年　『古今和歌集』（初の勅撰和歌集）完成

907 年　『延喜格』編纂・延喜通宝の鋳造

914 年　**三善清行**が醍醐天皇に**『意見封事十二箇条』**を奏上

927 年　『延喜式』編纂

②朱雀天皇の政治

藤原忠平（時平の弟）により**一時的に摂関政治が復活**。

939年～承平・天慶の乱（～941年）

※関東で平将門，瀬戸内海で藤原純友が反乱。

③〔3　　　　　　　　〕の親政 **―天暦の治―**

関白藤原忠平の死後は摂政・関白を置かず親政を展開。

958年　乾元大宝の鋳造

※最後の本朝〔皇朝〕十二銭。

本朝〔皇朝〕十二銭

まとめ

藤原北家と皇室に外戚関係がなかったので，
宇多天皇の治世後半から摂関政治は中断した。
11世紀に入ると，自らの地位低下や摂関家の専横への不満から，
醍醐・村上天皇の親政が「延喜・天暦の治」と美化された。

第 4 講　PART 3　確認問題

1　9～10 世紀に，天皇との結びつきを強化し，政権を握ったのは何家か。

①　藤原南家　　②　藤原北家
③　藤原式家　　④　藤原京家

2　藤原良房による，842 年の他氏排斥事件を何というか。

①　応天門の変　　②　薬子の変
③　承和の変　　④　阿衡事件

3　藤原良房による，866 年の他氏排斥事件で排斥されたのはだれか。

①　大納言伴善男　　②　橘逸勢
③　橘広相　　④　伴健岑

4　884 年に藤原基経が事実上の関白に就任したときの天皇はだれか。

①　光孝天皇　　②　清和天皇
③　陽成天皇　　④　仁明天皇

5　醍醐天皇による親政は何と呼ばれたか。

①　寛平の治　　②　天暦の治
③　貞観の治　　④　延喜の治

6 菅原道真が左遷された出来事を何というか。

① 安和の変　② 昌泰の変
③ 薬子の変　④ 阿衡の紛議

7 一時的に摂関政治を復活させたのはだれか。

① 藤原時平　② 藤原兼家
③ 藤原兼通　④ 藤原忠平

8 天皇政治の理想とされた天暦の治を行った天皇はだれか。

① 朱雀天皇　② 冷泉天皇
③ 村上天皇　④ 清和天皇

第 4 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　810 年に**藤原冬嗣**が嵯峨天皇の蔵人頭に就任したことが，北家発展の契機となった。

2 解答：③　**承和の変**で，皇太子恒貞親王・**伴健岑**・**橘逸勢**を謀反の疑いで排斥した。①の**応天門の変**では**大納言伴善男**と紀氏の兄弟を排斥した。

3 解答：①　②の**橘逸勢**と④の**伴健岑**は，**承和の変**で排斥された。③の**橘広相**は**阿衡の紛議〔阿衡事件〕**で責任を負った人物。

4 解答：①　**藤原基経**は，**阿衡の紛議〔阿衡事件〕**の後，正式の関白に就任し，政治的地位を確立した。

5 解答：④　**醍醐天皇**は，摂政・関白を置かず，左大臣**藤原時平**，右大臣**菅原道真**を従えて親政を開始した。

6 解答：②　**菅原道真**は，藤原時平の讒言により大宰権帥に左遷された。

7 解答：④　**藤原忠平**は藤原時平の弟で，摂政・関白に就任した。

8 解答：③　**村上天皇**は，関白藤原忠平の死後，摂政・関白を置かず親政を展開した。